

報告・評価シート

1 基本情報

設置主体	名称	株式会社いぶき	報告日	令和8年1月23日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		
事業所	名称	ウィズライフ創	評価日	令和 年 月 日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		

事業所の運営方針	事業所は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 事業の実施に当たっては、関係市町、指定一般及び特定相談支援事業者、他の指定障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする
事業内容	事業所開設日 令和 2年 2月 1 日 利用者定員 19 名（利用者 19 名）・短期入所定員 1 名（利用者 5 名）

利用者概況	障害種別	身体 2 名	知的 15 名	精神 5 名	難病 0 名	※重複する場合はそれぞれに記載
	支援区分	区分3 1名、区分4 5名、区分5 7名、区分6 6名				
	日中の状況	主にグループホームで日中を過ごす方 1 名				
人員配置	日中	世話人 A 棟 2 人(常勤換算 1.15 人) B 棟 4 人(常勤換算 1.23 人)	生活支援員 A 棟 2 人(常勤換算 1.15 人) B 棟 4 人(常勤換算 1.23 人)	看護師 A 棟 1 人(常勤換算 1 人) B 棟 1 人(常勤換算 1 人)		
	夜間	世話人 A 棟 8 人(常勤換算 2.7 人) B 棟 8 人(常勤換算 2.0 人)	生活支援員 0 人	夜間支援従事者 A 棟 7 人(常勤換算 1.3 人) B 棟 7 人(常勤換算 1.3 人)		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>支援体制の確保と支援の実施</p> <p>・日中サービスの提供内容や、他の日中活動サービスの利用状況、外出や余暇活動等の社会生活上の支援、相談支援事業所や他のサービス事業所等との連携等について</p>	<p>A ユニット9名【区分3:1名・区分4:2名・区分5:4名・区分6:2名+短期入所1名</p> <p>生活支援員:基準配置84時間/週に対して88時間/週配置</p> <p>世話人:基準配置時間68時間/週に対して68時間/週配置</p>	<p>日中、土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p>	
	<p>加配の世話人:基準配置時間44時間/週に対して46時間/週配置</p> <p>B ユニット10名【区分3:0名・区分4:3名・区分5:3名・区分6:4名】</p> <p>生活支援員:基準配置88時間/週に対して88時間配置</p> <p>世話人:基準配置68時間/週に対して68時間/週配置</p> <p>加配の世話人:基準配置時間68時間/週に対して68時間/週配置</p>	<p>重度化・高齢化等のニーズに対応しているか。</p>	
	<p>上記に加え各ユニットごとに夜間支援従事者を配置し24時間365日切れ目のない支援を提供できる人員を配置している。</p> <p>・入居者19名中区分5・6の利用者が13名、60代以上の利用者が2名</p> <p>・現入居利用者17名が生活介護、2名が就労継続支援B型を利用。9割が訪問看護を利用している。日中の外部サービスが利用できない場合の支援及び活動については、グループホーム内において24時間の相談、健康管理、入浴、排せつ、食事の介護、その他の日常生活上の支援、レクリエーションの実施といった日中サービスを提供している。</p> <p>・生活介護利用の方についても、希望者には就労継続支援B型事業所と連携し、体験利用の形で定期的に就労体験をしている。昨年は3名が参加。</p> <p>・担当相談支援専門員及び日中活動のサービス管理責任者等と連携し、利用者の希望に応じ、サービスの見直しを常に図っている。令和7年は、1名が介護保険サービスに移行、新規入所者は2名加わった。(1名は死去)</p> <p>・外出や余暇活動として以下を実施している。</p> <p>イベントの実施(誕生日会・花見・流しそうめん・花火・外食支援・クリスマス会・餅つき等季節に応じて企画している)</p> <p>外出支援2~3回/週(買い物、外食支援、公園や施設周辺の散策、イベントや祭りへの参加等)</p> <p>移動販売車(クレープ販売車2か月に1回、パン屋月1回)</p>	<p>利用者の意向に反して日中サービス等の利用が制限されていないか。</p> <p>適切なサービスの利用が図られるよう他の事業所等との連携が図られているか。</p>	
<p>利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。</p>			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>地域に開かれた運営</p> <p>・家族や地域住民との交流等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々への活動報告や広報活動として、月に1度開催されている民生委員の会合に参加している。本年度は同会において法人で販売している食品の受注を受け提供させていただいた。また不要衣類の収集を呼びかけ、たくさんのご寄付をいただき利用者への衣服としての提供や手芸資材やウエス材料として活用できた。 ・本年も付近の散歩をする際にごみ拾いを行い、ご近隣の方からよくお声掛けをいただいている。 ・全事業所が集まる運動会の開催を計画していたがグラウンドの整備がされておらず延期となった。春ごろの開催に向け法人で草刈り等を請け負い準備している。 ・運動会は開催できなかったが、昨年公式ラインを開設し、従来からの公式インスタグラムと併用しつつ、ご家族との情報交換や交流がスムーズにいくように努力をしている。 ・昨年は3月に、地域連携推進会議を初開催した。民生委員等地域住民3名、利用者家族1名、利用者1名を招き実施。本年は3月28日に開催を予定している。 	<p>地域住民との交流の機会が確保されているか。</p>	
		<p>家族との交流の機会が確保されているか。</p>	
<p>短期入所の併設</p> <p>・利用状況や緊急時の受け入れの状況等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の入所に向けた方の定期利用や、突発的な利用のニーズに対しても可能な限り情報収集し、緊急の職員ミーティングを行い対応している。 <p><緊急対応の事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の急な入院による受け入れ ・虐待を受ける恐れのある方の一時的な受け入れ ・刑事収容施設出所者の再犯防止のための一時緊急受け入れ <p>通常の利用 5 名 緊急的利用 4 名 (令和 7 年中)</p>	<p>地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。</p>	
		<p>緊急的利用のニーズに対応しているか。</p>	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	
職員の資質向上への取り組み ・参加した研修や取得した資格等について	・委員会活動(虐待防止・環境衛生・事故防止・防災・感染症対策)を月に一度実施し、参加メンバーで協議した内容を職員に対して周知している。 ・社外やオンラインで実施された研修に参加した職員は、研修内容を伝達する目的で社内研修を実施している。 ・動画研修システムを用いた障害者支援に関する研修を実施 ・資格取得にかかる費用を一部または全額補助している。 介護福祉士試験 1名 社会福祉士試験1名 実務者研修 1名 サービス管理責任者実践研修 3名 強度行動障害基礎研修1名	支援の質の確保に努めているか。(資格取得、研修等) 41	
その他 ・事業所独自の取り組み等について	・BCPに基づき、避難訓練や感染症対策訓練を実施。 ・一昨年、がんにより余命宣告を受けた方を受入れ。令和7年緩和病棟への入院まで見守りを行った。今後も人道的配慮を行いつつニーズに応じた支援を展開していく。 ・重度化、高齢化に対応することだけでなく、法人内に就労継続支援や外部サービス利用型グループホームを併設する強みを生かし、利用者の希望や強みを活かしてステップアップできるよう通過型のグループホームとしての機能を意識している。本年は法人内で新たに介護包括型グループホームが開設される予定である。ステップアップ可能な方はこちらに移行していただき、入居待機されている重度の方の受入を推進していく。		
協議会からの要望、助言への対応(2回目以降) ・要望・助言の内容及びその対応について	利用者が地域で充実した生活を送るため積極的な支援を提供していくことを期待されているものと理解している。 引き続きその期待に応え、利用者や地域への貢献に努めて参りたい。	要望、助言に誠実に対応しているか。	